

# アンビューバッグの一次洗浄廃止と中央管理への取り組み

～適切な洗浄・消毒と物品管理から感染防止につなげる～

有田市立病院 感染制御室  
感染管理認定看護師 吉田俊晴

医療現場において再生利用する医療器具の病棟や外来における一次洗浄は作業員への体液曝露などの感染リスクがあるため、洗浄から払出しまでを一括管理する中央処理システムを導入することが望ましいとされている。病棟や外来でのアンビューバッグの一次洗浄を廃止し、中央管理にすることで作業員の血液や体液曝露リスクを無くし、器材の適切な洗浄や消毒及び器材管理を図ることは患者にとっても有用な事である。

中央管理の流れとしては、現場で使用したアンビューバッグはナイロン袋に入れ中央材料室で回収し、分解・洗浄・滅菌・組み立てが行われる。そして、組み立てられたアンビューバッグは清潔なナイロン袋に入れ、払出しがされる。洗浄や消毒処理及び組み立て・払出しに関するマニュアルの作成にあたり、洗浄や消毒（滅菌）方法、組み立て方法、作動確認などの内容をイラストや写真入りで作成した。また、器材の洗浄時に作業員が血液や体液に曝露しないように個人防護具（長袖のナイロンエプロン、サージカルマスク、ゴム手袋、キャップ、フェイスシールド）の着脱マニュアルも作成した。

## マニュアル作成と教育

### 1. マニュアル作成

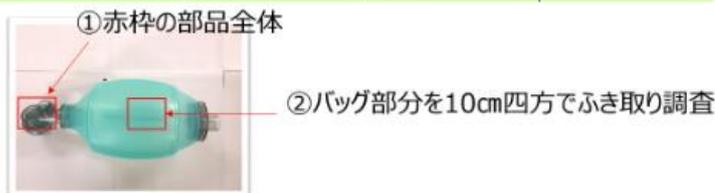
- ① 個人防護具の装着について
- ② 洗浄方法
- ③ 消毒方法
- ④ 組み立て方法
- ⑤ 作動確認

### 2. 作業員への教育



## 洗浄評価

 出典：キッコーマンHP	回収時	洗浄後	管理基準値
ATP測定値 RLU (Relative Light Unit)	①697 ②3834	①23 ②3	100



洗浄の評価として、中央処理システム導入の前後において、アンビューバッグの汚染度を ATP 測定器で評価した。結果は洗浄前に①697RLU②3834RLU (Relative Light Unit) であった汚染度が洗浄後は①23RLU②3RLU に改善した。また、現場でのアンビューバッグの保管方法として、従来は包装なしでそのままの状態での保管していたため、清潔なナイロン袋に入れ保管するという方法を取り入れ、埃などの汚染を防ぐようにした。その評価として、払出しから 1 か月以上経過している現場のアンビューバッグの汚染度を ATP 測定器で計測した結果は、①172RLU②617RLU であり、適切な品質管理につながっていた。

臨床で実際にこのような問題に取り組んでみると、感染面の問題だけでなく、医療安全面の問題も浮かび上がってくる。今回も組み立てに不備がある物品もいくつかあり、訓練された者が組み立てることでこのような問題の解決にもつなげることができた。